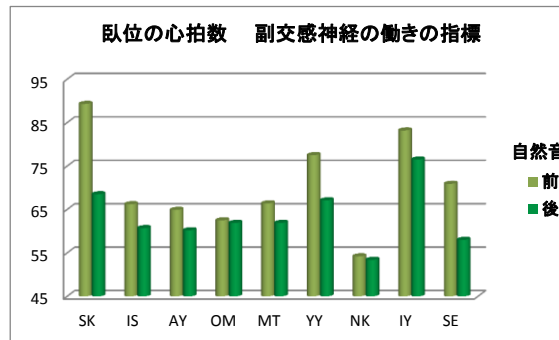
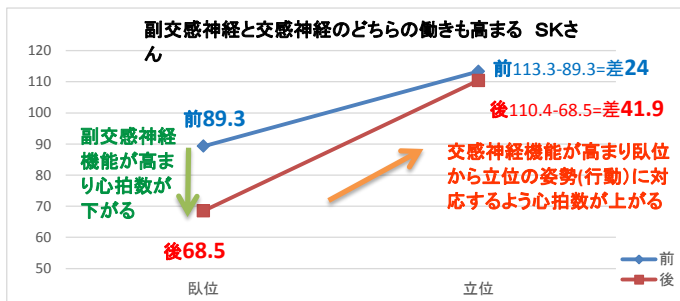


副交感神経の働きの指標(臥位の心拍数)					交感神経の働きの指標(立位-臥位の心拍数差)						
		臥位			体の回復力			臥位	立位	臥位	立位
name	年齢	前	後	前後差	前	後	前後差	前	後	前後差	心拍数の差(立位-臥位) 行動への適応力
SK	12	89.3	68.5	20.8	89.3	113.3	68.5	110.4	24	419	17.9
IS	15	66.2	60.7	5.5	66.2	89.3	60.7	95.3	23.1	34.6	11.5
AY	48	64.9	60.2	4.7	64.9	73.7	60.2	74.8	8.8	14.6	5.8
OM	36	62.5	61.9	0.6	62.5	74.3	61.9	74.6	11.8	12.7	0.9
MT	32	66.4	61.9	4.5	66.4	82.6	61.9	87.7	16.2	25.8	9.6
YY	47	77.5	67.1	10.4	77.5	76.4	67.1	74.5	-1.1	7.4	8.4
NK	39	54.2	53.4	0.8	54.2	70	53.4	76.1	15.8	22.7	6.9
IY	36	83.2	76.5	6.7	83.2	90.9	76.5	92.7	7.7	16.2	8.5
SE	29	70.9	58	12.9	70.9	92.5	58	95.5	21.6	37.5	15.9

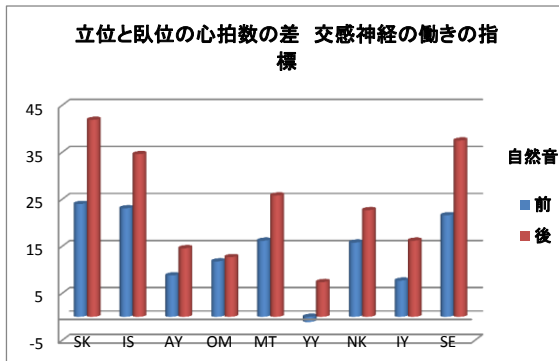
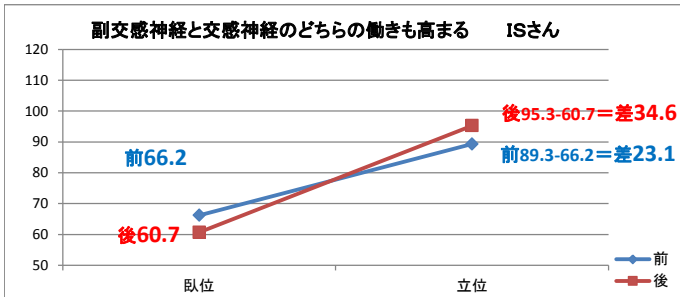
※副交感神経機能が高まると心拍数が低下(臥位では心拍数が下がり、60拍前後が望ましい)

※交感神経機能が高まると心拍数が上がる(立位と臥位の心拍数の差が大きいと姿勢の変化(行動))に対応して心拍数が変動できることを意味する

※臥位(横になる) 立位(立つ) 座位(座る)



副交感神経機能が高まると心拍数が低下(臥位では心拍数60拍前後が



交感神経機能が高まると心拍数が上がる。立位と臥位の心拍数の差が大きいと姿勢の変化(行動))に対応して心拍数が変動できることを意味す

